

パラスポーツ指導者講習会

目的・ねらい

オリンピック・パラリンピック教育における障害者理解を一層充実させるため、パラスポーツの競技団体と連携し、教員がパラスポーツを体験するとともに、歴史・意義・ルール・指導法等を学び、学校の教育活動において指導を行うことができる資質・能力を身に付ける。

取組・活動内容

①実施時期

平成28年度、平成29年度、平成30年度、平成31年度、令和3年度

②実施規模

都内全公立学校・園の教員の希望者(各年度100～300名程度)

③取組・活動内容

- ・該当のパラスポーツの歴史や意義、ルールなどを学ぶ講義
- ・競技団体の選手や講師によるデモンストレーション
- ・指導法、指導上の留意点を理解するための競技体験

④実施競技

<パラリンピックスポーツ>

ボッチャ、5人制サッカー、パワーリフティング、シットイングバレーボール、車いすバスケットボール、車いすフェンシング、車いすラグビー、ゴールボール

<障害者スポーツ>

フライングディスク、フロアバレーボール、パラディスボール

計11競技 総受講者数(延べ)1,112名

本取組・活動の成果

- 参加した教員からは「とても丁寧な指導で分かりやすかった。」「声を掛ける大切さが分かった。→街中で視覚障害のある人に積極的に声を掛けたい。」「ブラインドの気持ちが体験でき、的確な言葉での補助が大切だと感じた。」といった感想があり、今後の指導につながる示唆に富んだ機会となった。

活動の様子

